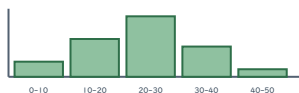


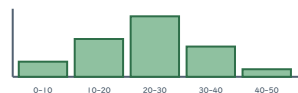
標準A | 数値を整理し、根拠を示して分布を読み取りましょう。

次の問いに答えなさい。

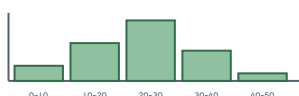
1. 図Aで度数が最も大きい階級を答えなさい。



2. 図Aで10以上20未満の度数を求めなさい。



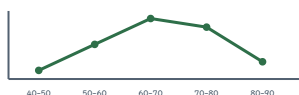
3. 図Aの資料の総数を求めなさい。



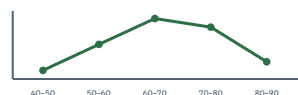
4. 図Aで30以上の人数を求めなさい。



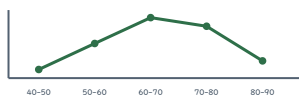
5. 図Bで折れ線が最も高い階級を答えなさい。



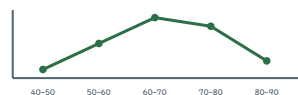
6. 図Bで50以上70未満の人数を求めなさい。



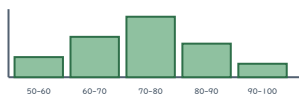
7. 図Bで60-70と70-80の度数の差を求めなさい。



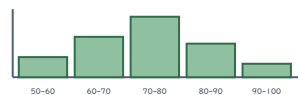
8. 図Bで60未満の人数を求めなさい。



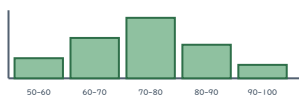
9. 図Cで度数が最も大きい階級を答えなさい。



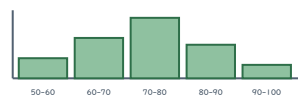
10. 図Cの資料の総数を求めなさい。



11. 図Cで70以上90未満の相対度数を求めなさい。



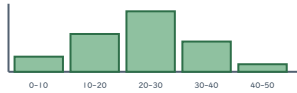
12. 図Cで80以上の人数を求めなさい。



答えだけでなく、並べ方・合計・度数の確かめ方を確認しましょう。

問題と考え方

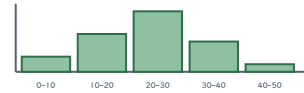
1. 図Aで度数が最も大きい階級を答えなさい。



答え: 20以上30未満

考え方: 最も高い柱は20-30。

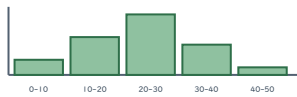
2. 図Aで10以上20未満の度数を求めなさい。



答え: 5人

考え方: 第2の柱の高さを読む。

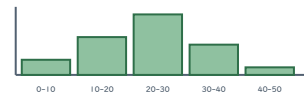
3. 図Aの資料の総数を求めなさい。



答え: 20人

考え方: $2+5+8+4+1=20$ 。

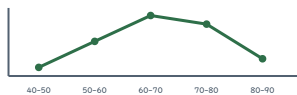
4. 図Aで30以上の人数を求めなさい。



答え: 5人

考え方: 30-40と40-50を足す。

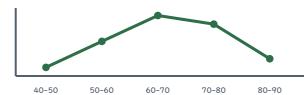
5. 図Bで折れ線が最も高い階級を答えなさい。



答え: 60以上70未満

考え方: 最大度数7の階級を選ぶ。

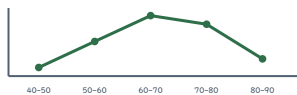
6. 図Bで50以上70未満の人数を求めなさい。



答え: 11人

考え方: $4+7=11$ 。

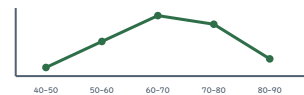
7. 図Bで60-70と70-80の度数の差を求めなさい。



答え: 1人

考え方: $7-6=1$ 。

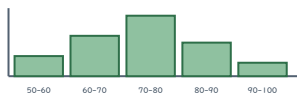
8. 図Bで60未満の人数を求めなさい。



答え: 5人

考え方: $1+4=5$ 。

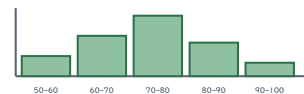
9. 図Cで度数が最も大きい階級を答えなさい。



答え: 70以上80未満

考え方: 最大度数9の階級を選ぶ。

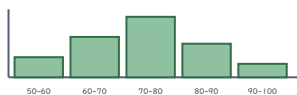
10. 図Cの資料の総数を求めなさい。



答え: 25人

考え方: $3+6+9+5+2=25$ 。

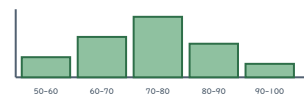
11. 図Cで70以上90未満の相対度数を求めなさい。



答え: 0.56

考え方: $(9+5) \div 25 = 0.56$ 。

12. 図Cで80以上の人数を求めなさい。



答え: 7人

考え方: $5+2=7$ 。